



# 前山だより

令和6年9月25日  
名古屋市立前山小学校  
No. 10

少しずつ過ごしやすい気候になってきましたが、まだまだ暑い日が続いています。水分補給や涼しい場所での休息など、学校でもできる限りのことをしていきます。保護者の皆様にも、水筒や汗拭きタオルの準備など、ご協力をお願いいたします。

子どもたちは暑さに負けず、これまでも増して元気よく運動したり、勉強したりして活発に活動しています。10月中旬からは運動会の練習も始まります。これから本格的に訪れる秋が、学びの秋、成長の秋となるよう、子どもたちを見守ってまいりたいと思います。

## 10月の主な行事予定

- 2日(水) クラブ活動
- 4日(金) 6年校外学習(日本特殊陶業市民会館)
- 8日(火) 1年生 体力・運動能力調査(予備日9日(水))
- 9日(水) 委員会活動
- 10日(木) わかば・たんぼぼ出前授業(カルビースナックスクール)
- 11日(金) 2年校外学習(学区探検)
- 14日(月) スポーツの日
- 15日(火) 6年薬物乱用防止教室 3年校外学習(名東消防署)
- 16日(水) 薬の授業(学校薬剤師来校)
- 25日(金) 就学時健康診断(下校 13時 5年生補助児童 下校15時ごろ)

## 理科室にエアコンが設置されました

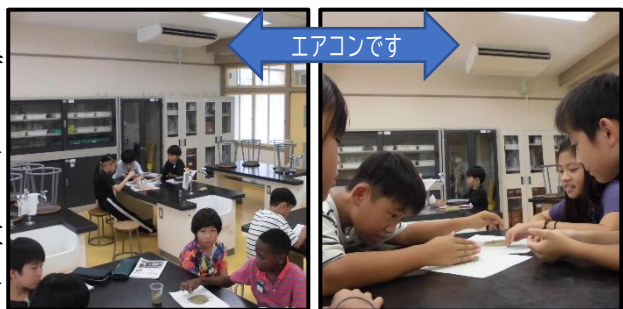
9月は例年以上に暑い日が続きました。特に、9月1週目、2週目は、朝から運動場の熱中症指数(WBGT)が「危険」レベルに達してしまうほどでした。

学校では、運動場では遊べないこと。涼しい教室で過ごすこと。授業でどうしても屋外へ出る際には、帽子をかぶったり日陰に入ったり、水分補給をしたりすることなどを呼びかけて対応しました。

少しずつ暑さは和らいでくる予報ですが、まだまだ注意は必要です。また、来月中旬より運動会に向けての練習も始まります。これまで同様、少し大きめの水筒をご準備いただいたり、汗拭きタオルを持参していただいたりして、子どもたちが安全に過ごせるようご協力ください。

また、校内設備の改良と言うことで、順次特別教室にもエアコンが設置されることとなりました。本校は、9月9日(月)、理科室にエアコンが設置されました。

今後も、特別教室や体育館にエアコンが設置される予定です。子どもたちが活動する場所には、順にエアコンが設置されていきます。ご承知おきください。



涼くなった理科室での学習の様子

## 学校努力点の取り組み（1年2組の様子）

今年度の本校努力点は、「『子ども主体の学びとなる授業づくり』～学びの自己選択、自己決定を通して～」です。今回のたよりでは、1年2組の授業の様子についてお知らせします。

1年2組は、国語科「かたかなを みつけよう」の単元で授業を行いました。身の回りの生活では、ひらがな、カタカナ、漢字があふれています。1年生は文字の学習を進める中で、片仮名で各言葉を見付け、その言葉を使って文を書けるようになることを目標にして学習に取り組みました。



自分で学びを選ぶ



学びの共有

言葉と出会い、自由に使えるようになることは、子どもたちにとって大きな喜びです。それと同時に、書字に苦手意識を持つ子もおり、一人一人の学習ペースや興味に応じて学習を進めることが求められます。そういった背景がある中で、授業では子どもたちも楽しみにしている「給食」を取り上げ、メニューの中から片仮名を見付けたり、見付けた片仮名を書いたりする授業を行いました。「給食」なので、「〇〇をたべる。」という形の文を作るコースと、これまでの学習を活用して学べる、「〇〇（は・を・で）～。」という形の文を作ることを目指すコースを子どもたちが選ぶ、学習に取り組みました。

その後、書いた文をペアや教室全体で発表し、自分が書いた文を楽しそうに発表する姿が見られました。今日の学習を振り返る時間では、「これからも片仮名を使った言葉を見付けたい」「もっと上手に片仮名が書けるようになりたい」と、これからの生活や学習でも意識したいことや学んでいきたいことを選ぶ姿が見られました。

子どもたちが自己選択・自己決定の学びを進めることで、高学年の教室では日々の生活の中でも「〇〇に取り組んでみたい!」と意見を発信する子が増えてきました。また、日々の授業の振り返りに継続して取り組むことで、自分自身の現状を把握し、目指す姿に向かうにはどのようなことに取り組むと良いかを考え、実行しようとしている姿が見られます。

新しいことへの取り組みなので、最初は子どもたちがとまどったり、結果が伴わなかったりすることもあるかもしれません。教師は、子どもたちのその姿を見て適切な助言をしたり、次に取り組むと良い学習を紹介したりしながら、本校が目指す姿である「自分に合った学びを自分で考えながら学習を進めていくことができる」子どもを育てていきたいと考えています。